

タイトル：2021年度教育セミナー（第17回）

日時：2021年9月16日（木）～19日（日）

オンライン開催

ポスター発表

「イスラームの新しい相互扶助の在り方—オンラインを活用したワーク制度の新展開」

佐伯 香織（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

この度は中東☆イスラーム教育セミナーに参加させて頂き、本当にありがとうございました。私は、今年度の教育セミナーが初めての参加となりましたが、大変貴重な学びを得ることができました。

最初に、講師の先生方のご講義では、沢山の重要な視座を得ることができました。私は現在、現代の東南アジア地域を対象に研究を行っておりますが、本セミナーでは、東南アジア、中東、中央アジアといった幅広い地域や年代を対象に様々なディシプリンからご研究されていらっしゃる先生方からのご講義を受講することができ、自分自身の研究関心を広げることに繋がったと考えています。それから、ご講義の内容だけでなく、研究を行っていく上で重要となるであろう、研究に向き合う姿勢についても学ばせて頂きました。特に、研究を遂行する上で日々直面する課題に対して、どうアプローチしていくのかということのを再考するきっかけとなりました。

また、受講生発表においては、発表者及び質問者の皆さんの独創的な着眼点に大変刺激を受けました。様々な研究テーマや学術的背景を持つ皆さんのご発表を聞いて、多様な研究関心や発想に触れることができ、大変勉強になりました。質問の切り口や方法についても一つ一つ学ばせて頂きました。

さらに、ポスター発表を行った際には、先生方や受講生の皆さんから、幾つもの有益なご質問やコメントを頂き、研究の方向性をより具体的に定めることができました。特に、悩んでいた事柄に関して、「もっと大きな視点で捉えてみたらどうだろう？」と明確なご助言を頂いたことが、狭まっていた視野を広げる大きなきっかけとなりました。頂いたご質問やコメントを無駄にせず、研究をさらに深めていけるように努力して参ります。

反省点を述べるとするならば、発言するのを躊躇してしまい、中々質問することができなかったことです。質問やコメントが飛び交う中で、もっと勇気を出して発言していれば、自分自身の理解や議論自体がより深まったのではないかと痛感しております。今後はこの反省を活かして、積極的に発言していくことを目指していく所存です。

また、各日のプログラム終了後に、受講生の皆さんと交流する機会を設けて頂いたことで、オンライン開催であっても、イスラーム世界を研究する同世代の方々と知り合い、仲

を深めることができたことは私にとって大きな収穫でした。今後も、このご縁を大事にしていきたいと考えております。

最後に、AA 研の先生方や FSC 事務局の千葉さんを始めとする企画から当日の進行までご尽力下さった全ての皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。